



関西学院主催特別コンサート

魂に響く、信仰と芸術の結晶

Vivaldi : Gloria in D major 他



SEOUL MASTERS CHOIR

ソウル
マスターズ
クワイア

2026 特別来日
JAPAN

5.21. 木

入場無料 / 予約不要

関西学院 西宮上ヶ原キャンパス

中央講堂

11:00 ▶ 12:20

一部 11:00-11:40

二部 11:50-12:20



ソウルマスターズクワイア（SEOUL MASTERS CHOIR, SMC）は、

「主（MASTER'S:イエス・キリスト）と専門家たち（MASTERS'）による合唱団」という理念をその名に込め、2005年12月、指揮者イム・チャンウン氏の呼びかけのもと結成されました。

声楽・指揮・作曲などを専門とするクリスチアンの音楽家で構成され、信仰に根ざした解釈と精緻なアンサンブルを礎に活動しています。創立以来、14回の定期演奏会を重ね、ルネッサンスから現代に至る多彩な合唱作品を高い音楽性で表現してきました。また、農村地域・福祉施設・軍隊など、文化的接点の少ない場にも足を運び、音楽を通して神の励ましと慰めを届ける活動を続けています。

2013年には、イ・ヘソン氏が率いるソウルマスターズ・チェンバーオーケストラ（SMCO）が結成され、合唱に弦楽アンサンブルが加わることで、作品の陰影と解釈はさらに豊かな広がりを見せています。

CAST

出演者



指揮
イム・チャンウン IM CHANGEUN

- ・韓国・総神大学 教会音楽科 指揮専攻卒業
- ・米国・北テキサス州立大学（University of North Texas）
- オーケストラ指揮 修士課程および合唱指揮 博士課程（D.M.A）修了
- ・光州・大田・城南・富川・蔚山の公立・私立合唱団 客員指揮
- ・大田市立合唱団 常任副指揮者 歴任
- ・春川市立合唱団 常任指揮者 歴任

現在

- ・韓国合唱研究学会 顧問
- ・韓国教会音楽協会および韓国合唱指揮者協会 理事
- ・総神大学 兼任教授
- ・ソウルマスターズクワイア 指揮者
- ・サラン教会合唱団 専属指揮者（大韓イエス教長老会・合同）



アンサンブル・リーダー
イ・ヘソン LEE HYESEON

- ・仙和芸術中学校・高等学校 卒業
- ・嘉泉大学 卒業
- ・ニューヨーク州立大学（CUNY）修士課程修了
- ・元・天安市立交響楽団 副首席
- ・Nシンフォニーオーケストラ コンサートマスター
- ・ヌーベル・シンフォニーオーケストラ コンサートマスター
- ・フォーエル・クアルテット（Four L Quartet）リーダー
- ・SMCO（Seoul Masters Chamber Orchestra）リーダー



伴奏
チョ・ヘイン CHO HYEIN

- ・仁川芸術高等学校ピアノ科卒業
- ・祥明大学ピアノ科卒業
- ・ソウルマスターズクワイア伴奏者
- ・梨花女子大学伴奏科修士課程在学中

合唱メンバー Seoul Masters Choir member



Soprano
KIM SHINAE / KIM JUEUN / KIM JOUNGHYUN / PARK YOUNGMEE /
BANG YUNYI / SEO AE JU / LEE SONJA / JUNG DOOBORA /
CHOI JINMYUNG / HEU SUJIN

Alto
KIM YOONHA / KIM HYE WON / YOON JUNGHWA / LEE JIYOUNG /
CHOI YUNHI

Tenor
RYU JAEMIN / BANG MYOUNGWON / JUNG JAEOK / YANG KANGMO

Bass
KOOK EUNGSIL / KIM JAEMIN / PARK CHONGWON / OH WONJIN /
LEE SUNGCHOONG



アンサンブル・メンバー Seoul Masters Chamber Orchestra

Vn1 | LEE HYESEON

Vn2 | KIM SO HYUN

Vla | KIM MIHYANG

Vc | KIM AIN

【関西学院主催 特別コンサートについて】

本公演は、関西学院が掲げる“MASTERY FOR SERVICE（奉仕のための練達）”の理念に深く共鳴して下さったソウルマスターズクワイアが、自費による無償来日というかたちで実現して下さいます。プロフェッショナルな演奏家として長年培ってこられた専門性と情熱を、関西学院のために惜しみなく分かち合ってください。心より感謝いたします。

本学で学ぶ学生のみならず、そして、日々その学びの共同体を支える教職員のみならずとともに、国や言語を越えて音楽の感動を分かち合い、本学の理念と深く響き合うひとときとなることを、心から願っています。